

**第 20 回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」リハーサル大会
兼 第 14 回鹿児島県障害者スポーツ大会
ボウリング競技実施要領（案）**

1 競技規則

令和 2 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 試合の方法は、デュアルレーン（アメリカン）方式で行う。
- (2) 競技はすべてスクラッチ 2 ゲームとし、その合計得点により順位を決定する。
- (3) 原則として、ゲームは同一レーン 4 名までとし、1 フレームごとに交代で投球する。
- (4) 投球練習は、競技開始前に競技役員の指示により、各選手が競技を行う 2 つのレーンで 10 分間行う。
- (5) 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。
- (6) ファウルラインを越えても意図的なものでない限りファウルとしない。
※ 競技者は、介助者なしに投球できることを原則とする。
- (7) オートマチックスコアラーの操作、個人記録カードの記入は、すべて競技役員が行う。
- (8) 競技は、競技日程に基づき実施し、すべて競技役員の指示で行う。

3 服装等

- (1) 服装は、ボウリング競技をするうえで支障のないものを着用する。
- (2) ソックスを必ず履くこと。
- (3) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを胸部及び背部に付ける。

4 招集

- (1) 招集は、所定の場所で行う。
- (2) 招集は、原則として開始 20 分前からとし、開始 10 分前に指定されたボックス内に完了する。
- (3) 招集完了時刻に遅れた選手は、棄権したものとみなし、競技に出場できない。

5 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

6 その他

- (1) 選手は、競技中ボウラーズエリアを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず競技役員に申し出ること。

- (2) ボウラーズエリアの立入りは、選手と競技役員とする。競技を観戦する場合は、ボウラーズエリアに立ち入らないよう注意する。
- ※ ただし、あらかじめ定められた介助者は、競技役員の指示によりボウラーズエリア内の立入り及び競技の補助を認める。
- (3) 競技会場のハウスボール、ハウスシューズを使用する場合は、参加申込書に基づき、競技会場で用意する。
- ア ハウスシューズは、主催者が所定の場所に用意し、選手はボウラーズエリア後方の通路で履き替える。
- イ ハウスボールは、主催者が所定の場所に用意し、選手は競技終了後速やかに元の場所に返却する。
- ウ ボールを拭くタオルは、主催者が用意する。
- (4) 競技上不明な点は、競技本部に問い合わせること。
- (5) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。